

きょう
今日からはじめる
まほろば あいサポート



SUPPORTERS BOOK

SHIRUKOTOKARA

シルコトカラ

しょうがい し とも い
—— 障害を知り、共に生きる ——

きょう
今日からはじめるあいサポート

シルコトカラ

2 はじめに

4 しかくしょうがい
視覚障害

6 ちょうかく げんごしょうがい
聴覚・言語障害

8 もう
盲ろう

10 したい ふじゆう
肢体不自由

12 ないぶしょうがい
内部障害

14 じゅうしょうしんしんしょうがい
重症心身障害

16 ちてきしょうがい
知的障害

18 はったつしょうがい
発達障害

20 せいしんしょうがい
精神障害

22 いぞんしょう
依存症

24 てんかん

26 こうじのう きのうしょうがい
高次脳機能障害

28 なんびょう
難病

30 しんたいしょうがいしゃ ほじょけん
身体障害者補助犬

32 じょうれい しょうかい
条例の紹介

35 しょうがい かん
障害に関するマーク

38 かんけい きかん いちらん
関係機関一覧

さまざまな障害の特性や

障害のある方の困っていることを理解し、

ちょっとした手助けや配慮を実践することで、

誰もが暮らしやすい地域社会を築いていく運動

それが

あいサポート運動です。

まずは“知ることから”はじめましょう。

あいサポーターになっただけの高校生で、まほろばカフェでアルバイトをしている。
あいサポート運動について日々勉強中。



モカちゃん



マスター

あいサポーターで、まほろばカフェのマスター。
あいサポート運動についてモカちゃんに色々なアドバイスをしている。

★2人については詳しくは『奈良県障害理解促進DVD』をご覧ください。

はじめに

障害について

知っていますか？

Q&A

Q1. 障害は特別なものですか？

No. 病気や事故はいつ起こるかわかりません。
同様に、障害は誰にでも生じ得るものです。

Q2. 同じ障害には同じ配慮をすれば良いですか？

No. 同じ障害でもその症状は多種多様で一律ではありません。
障害の種類や程度はさまざまです。
その人に合った配慮が必要です。

Q3. 障害があることは外見からわかるのでしょうか？

No. 外見だけでは障害があることがわからないこともあります。
そのため、周囲に理解されず、苦しんでいる方もいます。

Q4. 周囲の理解や配慮があれば、
何かが変わりますか？

Yes. 障害の種類や程度は人それぞれに違いますが、少しの理解や配慮があることで、地域の中で日常生活を営み、障害のない方と同じ職場で働いたり、趣味やスポーツなどで活躍したりとできることがたくさん増えます。

Q5. あいサポーターってなんですか？

障害について理解し、ちょっとした手助けや配慮を
実践する人のことです。

あいサポーターになるには、あいサポーター研修を受講し、
あいサポートバッジを受け取ってください。

私たちにできるあいサポート はいりょ どんな配慮ができますか？

1

あたた せつ 温かく接してください

しょうがい かた つめ しせん おく 障害のある方に冷たい視線を送ったり、見て見ないふりをするのは避けてください。



2

こま 困っていきそうな場面を見かけたら

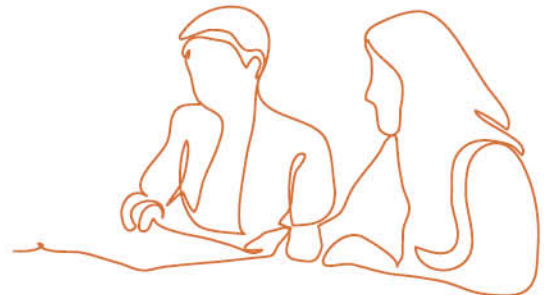
なに こま 「何かお困りですか」と
ひとこえ じぶん 一声かけて、自分でできるサポートをしましょう。



3

ほんにん はな 本人に話しかけましょう

しえんしゃ 支援者がいても、しょうがい かた 障害のある方
ほんにん はな 本人に話しかけましょう。



4

き 決めつけは
しないでください

しょうがい 「障害があるから」と決めつけず
こせい のうりよく それぞれの個性や能力が
い 生かせることを
いっしょ かんが 一緒に考えてみましょう。



5

じぶん 自分のイメージで
見ないでください

しょうがい 障害だけを
み 見るのではなく、
ひと ぜんたいそう その人の全体像を
み せつ 見て接しましょう。



しかくしょうがい 視覚障害

なん げんいん しきのう しょうがい
何らかの原因により視機能に障害があることにより、
まった み ばあい ぜんもう み ばあい じゃくし
全く見えない場合(全盲)と見えづらい場合(弱視)とがあります。

み ばあい つぎ しょうじょう
見えづらい場合には、次のような症状があります。

さいぶ
細部が
よくわからない

ひかり
光がまぶしい

くら
暗いところで
見えにくい

み はんい
見える範囲が
せま
狭い、
とくてい いろ
特定の色が
わかりにくい

- め じょうほう え おんせい て ふ じょうほう え
目から情報を得にくいため、音声や手で触れることなどにより情報を得ています。
また、視覚障害のある方すべてが点字を読めるとは限りません。

こま 困っています

- ひとり な ばしょ いどう こんなん
一人で慣れない場所を移動することが困難です。
- しゅうい じょうきょう こま じぶん こえ
周囲の状況がわかりづらく、困っていても自分から声をかけることが
こんなん
困難です。
- ひと しせん ひょうじょう りかい くるう
人の視線や表情が理解できないため、コミュニケーションに苦勞します。

はいりよ ねが 配慮をお願いします

- はくじょうしょうしゃ み こま み
白杖使用者を見かけて、困っているように見えたら
こえ
声をかけてください。

- じこ お えき こえ
・事故が起きないように駅のホームなどでは声をかける。
- でんしゃない いんしょくてん あ ざせき し
・電車内や飲食店などで空いている座席を知らせる。
- れつ さいこうび し
・列の最後尾を知らせる。

はくじょう
「白杖」について
し
知っていますか？



しかくしょうがい かた ほこう つか しろ つえ
視覚障害のある方が歩行するときに使う白い杖のこと。

はくじょうえすおーえす
※「白杖SOS」とは、

はくじょう ずじょう ていど かか
白杖を頭上50センチメートル程度に掲げて
しゅうい もと あいず
周囲にサポートを求める合図です。

み
「見えないからできない」のではなく、
み まわ しえん はいりよ
「見えなくても周りの支援や配慮があればできる」ことが
おお
多くあります。



● タッチパネル式の機械はうまく操作できません。

● 点字ブロックの上に、物や自転車などが置かれていると、
こま
困ります。

● 声をかけるときは、突然体に触れず、前方から声をかけましょう。

● 「こちら、あちら」などの指示語は使わないでください。
し じ ご つか
「3メートル先」「時計で3時の方向」など具体的に説明しましょう。

● 色覚障害のある方には、色の組み合わせや字体、線の太さなどに
はいりよ ひつよう
配慮が必要です。

ちょうかく げんご しょうがい 聴覚・言語障害

ちょうかくしょうがい 聴覚障害 には

- 聞こえない「ろう」と、聞こえにくい「難聴なんちよう（話し言葉はな ことばが聞きとりにくい、小さい音ちい おとが聞こえないなど）」とがあります。
- それぞれ「先天性せんてんせい（生まれつき）」のものと「中途失聴ちゆうとしつちよう（途中から）」のものがあります。

げんごしょうがい 言語障害 には

- 言葉の理解や適切な表現が困難な「言語機能の障害」と、言葉の理解には支障はなく発声だけが困難な「音声機能の障害」とがあります。

こま 困っています

- 聴覚障害は外見からはわかりにくく、周囲に気づいてもらえないことがあります。
- 話しかけられたことに気づかず返事をしなかったら、「無視された」などと誤解されることがあります。
- 補聴器を音楽用のイヤホンと間違われることがあります。
- 音声によって周囲の状況を判断することができません。
- 緊急放送や呼びかけ、自転車のベルなどが鳴っても聞こえず、危険な目にあうことがあります。

はいりよ ねが 配慮をお願いします

- 適切なコミュニケーション方法を確認しましょう。
- メール、ファックス、音声認識文字変換アプリ、筆談ボードなどの音声以外の情報伝達方法を活用しましょう。
- 発声はっせいが聞き取りにくい場合は、聞き返すなどして、きちんと内容を確認かくにんしましょう。

また、聴覚障害と言語障害が重複することもあります。
失聴した年齢、時期、程度などによって聞こえ方はさまざまです。

適切なコミュニケーション方法を確認しましょう。

手話

要約筆記

筆談

口話

代用発声

『手話ハンドブック』
（奈良県発行）も
参照してください。



発声が困難な音声機能の障害のみの場合でも、
言葉の理解や聴力にも障害があると誤解されることがあります。

コミュニケーションで困ることがあります。

- 「聞こえないため、情報を得ることができない」ことも多くあります。
- 連絡先として、電話番号だけでなく、FAX番号やメールアドレスが併記されていると安心して連絡が取れます。
- 言語障害の場合は、伝えたいことが伝わらない不便さがあります。

大事な内容を伝える際は、内容をメモ用紙などに書いて渡しましょう。

口元の形や顔の表情は、大切な情報になります。

はっきりと話すことを心がけ、必要に応じて、マスクや顔を隠すものは
はずしましょう。

手話通訳者や要約筆記者がいても、

聴覚障害のある方と向き合って話しましょう。

もう 盲ろう

視覚と聴覚の両方に障害があることを「盲ろう」といいます。

見え方や聞こえ方は個人によって異なり、

その程度によって次の4つのタイプがあります。

全盲ろう

まったく見え
ず
まったく聞こえない
状態

全盲難聴

まったく見え
ず
少し聞こえる
状態

弱視ろう

少し見えて
す
まったく聞こえない
状態

弱視難聴

少し見えて
す
少し聞こえる
状態

- 社会参加をするためには、
情報入手・コミュニケーションの支援や
移動の介助が不可欠です。

		聴覚障害	
		全ろう	難聴
視覚障害	全盲	全盲ろう	全盲難聴
	弱視	弱視ろう	弱視難聴

困っています

- 情報入手、コミュニケーション、移動などのさまざまな場面で
大きな困難が生じます。
- 自分の力だけで、情報を得たり、人と会話したり、外出、移動する
ことが困難です。

配慮をお願いします

- 生活環境や障害の程度、障害の発症時期により
コミュニケーション方法が一人ひとり異なることを理解しましょう。
- 通訳・介助員ではなく、できるだけ盲ろう者本人に話しかけましょう。

コミュニケーションの方法が一人ひとり異なるため、家族や周りの支援者が、それぞれにあったコミュニケーション方法を生み出す努力と工夫をしています。

て が も じ
手書き文字

て ゆびさき も じ か つた
手のひらに指先などで文字を書き伝えます。

し ょ く し ゅ わ
触手話

あいて おこな し ゅ わ ふ し ゅ わ かたち よ
相手の行う手話に触れて、手話の形で読みとります。

ゆ び て ん じ
指点字

てん じ か も う
点字タイプライターのキーの代わりに、盲ろう者の指を直接たたいて点字を表します。
さ ゆ う ひ と さ し ゆ び く す り ゆ び ほ ん ゆ び て ん じ
左右の人差指から薬指の6本の指を点字の6点に見立てます。

おんせい
音声

ち ょ う か く か つ よ う か の う か た た い み み も と ほ ち ょ う
聴覚の活用が可能な方に対して耳元や補聴器のマイクなどに向かって話します。
こ え お お き さ よ く よ う は や お と た か き
声の大きさ・抑揚・速さ・音の高さなど、聞こえ方に合わせた配慮が必要です。

も じ ひ つ き
文字筆記

し か く か つ よ う か の う か た た い か み
視覚の活用が可能な方に対して紙やパソコンに文字を筆記して伝えます。
も じ ひ つ き つ た
文字の大きさ・間隔・線の太さなど見え方に合わせた配慮が必要です。

もう しゃ はいりよ
盲ろう者によって配慮はさまざまです。
はいりよ ひつよう
どのような配慮が必要か
かくにん のぞ
確認することが望めます。

しかくしょうがい
視覚障害(P.4)と
ちようかくしょうがい こうもく
聴覚障害(P.6)の項目も
さんこう
参考にしてください。



● 通訳・介助員が支援しやすいように配慮しましょう。

● さまざまな支援方法があることを理解しましょう。

したいふじゆう 肢体不自由

て あし からだ いちぶ ぜんしん まひ けっそん
手や足など身体の一部や全身に麻痺や欠損などがあることにより、
にちじょう どうさ しせい いじ ふじゆう
日常の動作や姿勢の維持が不自由です。

- くるま りようしゃ おお ことば ふじゆう
車いすの利用者が多く、言葉の不自由さや、
ていか ともな
コミュニケーションの低下などを伴うこともあります。
したいふじゆう なか のうせい せきずいそんしょう きん
肢体不自由の中でも脳性マヒ、脊髄損傷、筋ジストロフィーなど
ぜんしん しょうがい およ ばあい しょうがい ていど おも
全身に障害が及ぶ場合は、障害の程度が重くなります。

あいて
相手のペースを
そんちよう
尊重しましょう。



こま 困っています

- くるま りよう
車いすを利用していると

- じゅうぶん だんさ しょうがいぶつ
十分なスペースがなかったり、ちょっとした段差や障害物があるために、
いどう
移動することができなかったりすることがあります。
- たか ゆか と こんなん
高いところにあるもの、床にあるものなどを取ることが困難です。
- こうきょうこうつうきかん ばあい
公共交通機関でバリアフリーになっていない場合は、
りよう りよう
スムーズに利用できなかったり、利用をあきらめなければならなかったり
することがあります。
- えーていーえむ じどうはんばいき しょうめん む あし はい つか
ATMや自動販売機など、正面向きでは足が入らず使いにくいです。

はいりよ ねが 配慮をお願いします

- こま こえ てだす ひつよう
困っていそうなときは声をかけ、どんな手助けが必要か
かくにん
確認しましょう。
- くるま りよう ひと かいわ
車いすを利用している人と会話するときは、
おな めせん たか はな
できるだけ同じ目線の高さで話すようにしましょう。

こういう方もいます

のうせい かた なか はつご しょうがい くわ かお てあし じぶん おも
 脳性マヒの方の中には、発語の障害に加え、顔や手足などが自分の思いとは
 かんけい うご かた
 関係なく動いてしまう方もいます。

せきずいそんしょう かた なか てあし うご かんかく よわ
 脊髄損傷の方の中には、手足が動かないだけでなく、感覚も弱くなり、
 たいおんちょうせつ こんなん かた
 体温調節が困難な方もいます。

きん かた なか びょうき しょうじょう しんこうど ちが
 筋ジストロフィーの方の中には、病気のタイプや症状の進行度に違いがあり、
 ぜんめんてき しんたいかいじょ ひつよう かた
 全面的な身体介助を必要とする方もいます。

- しょうがいしゃとうようちゅうしゃ あ
 障害者等用駐車スペースが空いていないため、
 りよう
 利用できないことがあります。

- た の こ こんなん かた せつしょく えんげしょうがい た もの
 食べること、飲み込むことが困難な方(摂食嚥下障害)には、食べ物に
 ころみをつけたり、こま きざ
 トロミをつけたり、細かく刻んだりするなどの加工が必要です。
 がいしょくじ かしだし たす
 また、外食時にはハサミやミキサーの貸出などがあると助かります。

- たきのう せいじん か
 多機能トイレに、成人のおむつを替えたり、
 したぎ ちゃくだつ おお おお こま
 下着の着脱ができる大きなベッドがないことが多いため、困っています。

- き と ないよう かくにん
 聞き取りにくいときはきちんと内容を確認しましょう。

- たきのう りよう かた
 多機能トイレしか利用できない方がいるので、
 いっぱん りよう かた りよう ひか
 一般トイレを利用できる方は、できるだけ利用を控えましょう。

- しょうがいしゃとうようちゅうしゃ いっぱん かた ちゅうしゃ
 障害者等用駐車スペースには、一般の方は駐車しないように
 しましょう。

ないぶしょうがい 内部障害

ないぞうきのうしょうがい しんたいしょうがいしゃふくしほう では「しんぞうきのう心臓機能」「こきゅうききのう呼吸器機能」
「じんぞうきのう腎臓機能」「ちよくちようきのうぼうこう・しょうちようきのう直腸機能」「かんぞうきのう小腸機能」「めんえきふぜん肝臓機能」「えいちあいぶいヒト免疫不全ウィルス(HIV)によるめんえききのう免疫機能」の7種類の機能障害が定められています。

しんぞうきのう
心臓機能

こきゅうききのう
呼吸器機能

じんぞうきのう
腎臓機能

ちよくちようきのう
ぼうこう・直腸機能

しょうちようきのう
小腸機能

かんぞうきのう
肝臓機能

めんえきふぜん えいちあいぶい めんえききのう
ヒト免疫不全ウィルス(HIV)による免疫機能

こま 困っています

- でんしゃ電車やゆうせんざせきバスの優先座席に座りにくい、しょうがいしゃとうようちゅうしゃ障害者等用駐車スペースをりよう利用しにくいなど、しんりてき心理的うストレスを受けやすいじょうきよう状況にあります。
- 「しんぞうきのうしょうがい心臓機能障害」でしんぞう心臓ペースメーカーなどをしょう使用している方は、かた携帯電話からけいたいでんわ発せられるはっ電磁波などのでんじは影響でえいぎよう誤作動するごさどう恐れがあります。
- 「こきゅうききのうしょうがい呼吸器機能障害」のある方は、かたタバコのけむり煙などによりおお大きなえいぎよう影響を受けます。
- 「じんぞうきのうしょうがい腎臓機能障害」のある方の中には、かた人工なか透析じんこうとうせきちりよう治療を受けている方がかたいます。ていきてき定期的なつういん通院へのりかい理解とじかん時間のはいりよ配慮がひつよう必要です。

はいりよ ねが 配慮をお願いします

- 「がいけん外見からはしょうがいわかりにくい障害」があることをりかい理解しましょう。
- き決められたまもルールやマナーを守りましょう。
- ゆうせんざせきふきん優先座席付近ではけいたいでんわ携帯電話のでんげん電源をき切りましょう。
- きタバコはき決められたばしょ場所です吸いましょう。



ハート・プラスマーク



オストメイトマーク



ヘルプマーク

「ハート・プラスマーク」
「オストメイトマーク」
「ヘルプマーク」などの
マークがあることを
理解_{りかい}しましょう！(P. 35)



- 「ぼうこう・^{ちよくちようきのうしょうがい}直腸機能障害」のある方で^{かた}人工^{じんこう}ぼうこう・人工^{じんこうこうもん}肛門を使用_{しょう}されている方は、^{かた}専用^{せんよう}の^{ひつよう}トイレが必要_{ひつよう}です。
- 「^{かんぞうきのうしょうがい}肝臓機能障害」のある方は、^{かた}体力^{たいりよく}の^{ていか}低下^{つか}や^{しょうじょう}疲れ^{けんちよ}の^{しょうじょう}症状^{けんちよ}が^{しょうじょう}顕著^{けんちよ}にあらわれます。
- 「^{しょうちようきのうしょうがい}小腸機能障害」のある方は、^{かた}消化^{しょうかきゆうしゅうきのう}吸収^{ていか}機能^{しょうかきゆうしゅうきのう}の^{ていか}低下^{しょうかきゆうしゅうきのう}により^{しょうじょう}食事^{しょくじ}による^{しょうじょう}栄養^{しょうじょう}維持^{しょくじ}が^{しょうじょう}難^{しょくじ}しいです。
- 「^{めんえきふぜん}ヒト免疫不全^{えいちあいぶい}ウイルス(HIV)による^{めんえききのうしょうがい}免疫機能障害」については、^{ごかい}誤解^{へんけん}や^{おお}偏見^{おお}が多^{ただ}いため、^{ただ}正^{りかい}しい^{ひつよう}理解^{ひつよう}が必要_{ひつよう}です。

● ^{かぜ}風邪^{はいりよ}などをうつさないよう^{はいりよ}配慮^{はいりよ}しましょう。

- ^{たいりよく}体力^{ていか}が^{かぜ}低下^{かんせん}しているため、^{かぜ}風邪^{かんせん}などに^{かんせん}感染^{かんせん}しやすいです。
- ^{しょうがい}障害^{そうき}のある^{あくえいきよう}臓器^{およ}に^{およ}悪影響^{およ}を^{およ}及ぼす^{およ}ことがあります。

じゅうしょうしんしんしょうがい 重症心身障害

じゅうしょうしんしんしょうがい せんてんせい こうてんせい かか
重症心身障害とは、先天性、後天性に関わらず、
じゅうど したいふじゆう じゅうど ちてきしょうがい ちょうふく じょうたい
重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態をいいます。
じぶんひとり にちじょうせいかつ おく こんなん
自分一人では日常生活を送ることは困難であり、
すべ せいかつめん かいじょ ひつよう
全ての生活面で介助が必要です。

- たいちょう あんてい かた おお
体調が安定している方の多くは、
つうがく つうしょ がっこう せいかつ かいじょ じょうしよ にちじゅうせいかつ おく
通学や通所をし、学校や生活介護事業所などで日中生活を送っています。

こま 困っています

- しゅう かた たきのう せいじん りょう
オムツを使用している方もいるため、多機能トイレに成人が利用できる
おお おお こま
大きなベッドがないことが多く困っています。
- くるま りょう じゅうぶん ばあい だんさ しょうがいぶつ
車いすを利用していると、十分なスペースがない場合や、段差や障害物
ばあい いどう こんなん
がある場合は、移動することが困難です。
- しょうがいしゃとうようちゅうしゃ あ りょう
障害者等用駐車スペースが空いていないため、利用できないことが
あります。

はいりょ ねが 配慮をお願いします

- ことば ひょうじょう かん こころ みな
うまく言葉や表情にあらわすことができなくても、感じる心は皆さんと
おな しゃかい いちいん みな おな せつ
同じです。社会の一員として皆さんと同じように接しましょう。
- くるま いどうじ ひとで
車いすやストレッチャーでの移動時に人手がいるようなときは、
ほんにん かいご かた こえ
本人や介護している方に声をかけてみましょう。

かた
こういう方もいます

コミュニケーションが難しく、経口で食事を摂取することや、呼吸をすることも困難な方、意識障害があり生命維持に関わる機能までもダメージを負っている方もいます。

せんもん しせつ にゅうしよ つね かいご かんご う せいかつ かた じたく かぞく かいご
専門の施設に入所して常に介護・看護を受けて生活している方や、自宅で家族の介護
にくわ加え、訪問医療、訪問介護などの支援を受けながら暮らしている方もいます。

とく じんこうこきゅうき いりょうど たか ひと ざいたく せいかつ じかん みまも
特に、人工呼吸器をつけるなど医療度が高い人の在宅での生活は、24時間の見守り、
たいちょうかんり ひつよう かぞく いがい かいごし かんごし おお しえんしゃ ひつよう
体調管理が必要で家族以外の介護士や看護師など多くの支援者が必要となります。

- にちじょうせいかつ ぜんかいじょ かいごしゃ ふたん おお
日常生活において全介助となるため、介護者の負担が大きいです。

- いりょうど たか きゅうじつ やかん きんきゅうじ たいおう いりょう きかん
医療度が高くなると、休日や夜間など緊急時に対応できる医療機関が
かぎ
限られます。

しょうがい おも ひとり せいっぱい
どんなに障害が重くても、一人ひとりが精一杯
い すがた みまも
生きている姿を見守ってください。



- がいしゅつじ しょうがいしゃとうようちゅうしゃ
外出時には、エレベーター、障害者等用駐車スペース、
たもくてき ひつよう ふかけつ
多目的トイレなどが必要不可欠です。
き まも
決められたルールやマナーを守りましょう。

- がいしょくさき でんげん しょう かのう はんい ほんにん しょくじけいたい しょく
外食先では、電源の使用や、可能な範囲での本人の食事形態(きざみ食
しょく あ しょくじ ていきょう ねが
やミキサー食など)に合わせた食事の提供をお願いします。

ちてきしょうがい 知的障害

おおむ さい ちてき のうりよく おく しょう
概ね18歳までに知的な能力に遅れが生じ、

にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ てきおう
日常生活や社会生活へ適応するため、

なん しえん ひつよう じょうたい
何らかの支援が必要な状態をいいます。

●「人とのコミュニケーション」「物事の理解や記憶」「抽象的な思考」などを

にがて かに おお はったつしょうがい しょうじょう ちょうふく ばあい
苦手とする方が多く、発達障害の症状が重複する場合があります。

ことば こうどう いみ あいて つた まわ ごかい へんけん
ことばや行動の意味が相手にうまく伝わらず、周りから誤解や偏見を
うけることがあります。

こま 困っています

● 複雑な会話や抽象的な概念が理解しにくい方もいます。

● 人に尋ねたり、自分の意見を言ったりすることが苦手な方もいます。

● 漢字の読み書きや計算が苦手な方もいます。

● ひとつの行動に固執したり、同じ質問を繰り返したりする方もいます。

はいりよ ねが 配慮をお願いします

● 不安を感じることをないように、穏やかな口調で話しかけてください。

● 成人の場合は、相手の年齢に応じた言葉を使って話してください。

● 具体的な表現で、わかりやすく伝えてください。



- ^{かんきょう}環境や^{じょうきょう}状況の^{へんか}変化に^な慣れるのが^{にがて}苦手な方もいます。

- 「^{あんもく}暗黙の^{しゃかい}ルール」や「^{しゃかい}社会の^{りかい}ルール」が^{かた}理解できない方もいます。

- ^{じこ}事故・^{たす}トラブルにあっても^{もと}助けを求めたり、^{だれ}誰かに^{うった}訴えたりすることが^{にがて}苦手な方もいます。

- ^{かんかく}感覚が^{かびん}過敏な方もいます。

● ゆっくり、^{ていねい}丁寧に、^く繰り返し^{かえ}説明して^{せつめい}ください。

● ^{おも}思い込みで^こ判断せず、^{はんだん}見守り^{みまも}しましょう。

● ^{しょうがい}障害のある^{かた}方^{ほんにん}本人に^{はな}話しかけましょう。

はったつしょうがい 発達障害

生まれつき脳機能の発達に障害があるために起こるものであり、

「自閉スペクトラム症 (ASD)」「注意欠如・多動症 (ADHD)」

「限局性学習症 (SLD)」の3つに大別されます。

つぎ
次のような特徴があります。

- 「自閉スペクトラム症」「注意欠如・多動症」「限局性学習症」はそれぞれ重複することが多いです。
- 一人ひとりの特性はさまざまで、個々に症状は違います。
- 親の育て方や育った環境などが原因ではありません。

こま
困っています

- 発達にアンバランスがあり、できること、できないことに差があります。
- 「言うことを聞かない」のではなく、「聞いているようで聞いてない」ことや、「聞いていても理解できない」ことがあります。
- 「しない」のではなく、「することが困難」な場合があります。

はいりよ
ねが
配慮をお願いします

- それぞれの特性を理解して、その方にあった関わり方をしましょう。
- 状況の変化に柔軟に対応できないときは、落ち着ける場所に誘導しましょう。
- 思い込みで判断せず、見守ってみましょう。

じへい しょう えーえすでいー
自閉スペクトラム症 (ASD)

しゃかいせい たいじんめん
 社会性や対人面において、コミュニケーションや関係づくりが苦手、こだわりが強く、行動や興味や関心のかたよりがある、感覚の過敏などの特徴があります。

げんきよくせいがかくしゅうしょう えすえるでいー
限局性学習症 (SLD)

ぜんぱんてき ちてきはったつ おく
 全般的な知的発達に遅れはありませんが、聞く、話す、読み書きや計算など、特定の能力に著しい困難があります。

ちゅういけつじょ たどうしょう えーでいーえいちでいー
注意欠如・多動症 (ADHD)

しゅうちゅう ふちゅうい
 集中することができない「不注意」、じっとしてられない「多動性」、考えるよりも先に行動する「衝動性」などの特徴があります。

とくせい ほんにん しゅうい ひと
 特性を本人や周囲の人が理解し、それぞれにあったやり方で支援することができれば、持っている本来の力が生かされるようになります。



とくせい こじんさ おお がいけん
 ● 特性に個人差が大きく、外見からはわかりづらいため、理解されにくいことがあります。

たいじんかんけい きよりかん ば ふんいき よ
 ● 対人関係において距離感や場の雰囲気を読むことが困難で、自分の考えを譲りにくい方がいます。

きゅう へんこう へんか たいおう ながて おお
 ● 急な変更や変化に対応することが苦手であることも多く、パニックに陥ってしまう方がいます。

ちてきしょうがい
知的障害 (P.16)
 しょうじょう ちょうふく
 の症状が重複する
 ばあい
 場合もあります。

じぜん みとお しめ
 ● 事前に見通しを示しましょう。

ぐたいてき ひょうげん つた
 ● 具体的な表現で、わかりやすく伝えましょう。

こうていてき たいおう こころ
 ● 肯定的な対応を心がけましょう。

せいしんしょうがい 精神障害

なん げんいん のう はたら さまた
何らかの原因により、脳の働きが妨げられ、
せいしん からだ こうどう へんか あらわ のう びょうき
精神や身体、行動などに変化が現れる脳の病気です。

● 「**統合失調症**」「**うつ病**」「**双極性障害**」など種類や症状はさまざまです。

※日常生活や仕事などが思うようにできなくなり、「**社会性がない**」「**怠けている**」などと誤解されてしまうことが少なくありません。医療と福祉などの総合的な支援によって社会参加への道が開かれます。

※精神障害の方が生活について相談したり、通うことができる施設も増えています。さまざまな支援を適切に活用することで、持っている力を発揮することができます。

こま 困っています

● **対人関係やコミュニケーションが苦手な方もいます。**

● **外見からはわかりにくいいため、障害のつらさを理解されず、社会から孤立してしまう方もいます。**

● **社会の理解不足から、病気のことを知られたくないと悩んでいる方もいます。**

はいりよ ねが 配慮をお願いします

● **障害に対する理解を深め、一人の人間として尊重し対応しましょう。**

● **肯定的な言葉で、「わかりやすく」「ゆっくりと」「具体的に」話しましょう。**

● **黙って寄り添うのも大事なコミュニケーションになる場合があります。**